

犬伏地区

第18号

社協だより

令和5年3月20日

発行

犬伏地区
社会福祉協議会

編集

犬伏地区
社協総務部会

地区社会福祉協議会とは？

地区社会福祉協議会(通称:地区社協)は、市社協のように法律に定められた団体ではなく、住民の皆さんが自分たちの住む地域の福祉課題を、「住民同士の助けあい」によって解決していくことを目的として設立された、任意の団体です。

希薄になりつつある住民同士のつながりの輪を広げ、福祉の視点を持った地域づくりを進めるとともに、「地域のつながり」を活かして地域の実情に即した自主的な活動を展開して問題解決につなげることを目的としています。



いぬいかわし

犬伏地区社会福祉協議会 会長

小代 久子



令和4年度、犬伏地区社会福祉協議会の会長浅沼町の小代久子と申します。よろしくお願ひいたします。犬伏地区には令和4年11月現在、65才以上の高齢者は5318人(男2396人女2922人)、一人暮らしの高齢者は令和3年度789人(男298人女491人)です。また葦川町は、町の人口に対して65才以上の高齢者が50%以上で限界集落となっております。こうした現実に福祉の公的な支援は基より、地域のたすけ合いの精神は必要不可欠であると思われまふ。犬伏地区社会福祉協議会としましても、地域社会全体の見守りをはじめとする「寄り添う」「助け合う」「支え合う」ことのできる活力ある地域づくりを目指して、力を尽くしてまいりたいと思っております。

犬伏地区社会福祉協議会

地域での活動紹介

全ての活動を掲載できませんでしたが、順次掲載予定です。



犬伏上町「和光会ふれあい

サロン」の活動状況について

会長 梅田敏雄



コロナによる緊急事態宣言により活動の停止がありました。解除後はダーツ、輪投げ、ペタンクを行いながら、ペットボトルのお茶と、あめに限り和気あいあいと、毎月3回楽しんでおります。コロナ対策は、マスクの着用、消毒の徹底とソーシャルディスタンスの実施の他に、毎回体温のチェック、換気の徹底により、サロン活動より感染者を出さないという強い意識を持ち、



今の様なコロナ禍の時だからこそさびしい生活を送るのではなく、お互いに責任を持って、外に出てふれあいサロンで人生を楽しんでほしいと願っております。

犬伏下町「なかよしクラブ」の

活動について

会長 町田順一



犬伏下町公民館を会場にして活動。例会は毎週火曜日の9時30分～11時30分。まず各自血圧測定を行い、それからDVDを見ながらゆっくりとハツラツ元気体操を実施します。テンポが遅くゆったりしているのでバカにしている方がいますが、効果は確実です。

足利の東葉館で一日楽しんでくるのも恒例になってます。月500円の会費では足りないのので3500円の自己負担で参加です。忘年会、新年会を企画実施。例会はカラオケを楽しんでいます。人が増えることで地域の

関川町会「三杉シニアクラブ」

会長 野村啓一



防犯にとりもたらすような相乗効果が生まれます。植樹費用については全国レベルの応募、県関連の企画等助成を受ける手段がありますので地域活動の一つとして取り組まれることをお勧めします。

当クラブでは、4クラブの中3クラブが活動中。

- ①ふれあいサークルは65～75才の高齢者参加で、毎週月曜日2組に分かれ講師の指導も受け健康体操と介護予防教室(体操を含)を実施。
- ②ときめきクラブは、75才以上の高齢者で介護認定者も参加可のクラブです。市の高齢課推奨のハツラツ元気体操+カミカミ百才体操を毎週1回実施、又歓談会も月1回実施、公民館(会場)への来場困難な方には車で自主送迎もされています。
- ③グラウンドゴルフは町内公園を利用し、毎週1回実施。3クラブともコロナ禍の中、対策を十分行い明日も健康にと願うのサークルです。





「いつまでも元気で」
米山南町会 ハツラツ会

会長 小早川房平

米山南町会では、自宅でいつまでも元気で生活を楽しむことができるようにと佐野市が実施している「介護予防・日常生活支援総合事業」通所型サービスBの活動を行っています。内容は「ハツラツ会」として①ハツラツ元気体操②ラージボール卓球です。

ハツラツ元気体操は毎週水曜日にDVDに合わせて体操を行います。更に月1回は介護予防教室「音楽に合わせて」を開催し講師を招いて楽しく体を動かしています。ラージボール卓球は公民館に卓球台を3台置き、週1回卓球を存分に楽しんでいます。

令和3年度 収支決算

(収入)

(単位：円)

科目	決算額
会費	369,500
交付金	509,000
寄付金	0
雑収入	1
繰越金	499,042
収入合計	1,377,543

(支出)

(単位：円)

科目	決算額
事務費	1,540
会議費	6,567
通信費	4,704
事業費	697,370
①総務部会費(社協だより印刷代他)	(94,600)
②青少年健全育成部会費	0
③高齢者福祉部会費(見守り他)	(602,770)
予備費	212,905
支出合計	923,086

令和4年度 収支予算

(収入)

(単位：円)

科目	決算額
会費	380,000
交付金	650,000
寄付金	1,000
雑収入	543
繰越金	454,457
収入合計	1,486,000

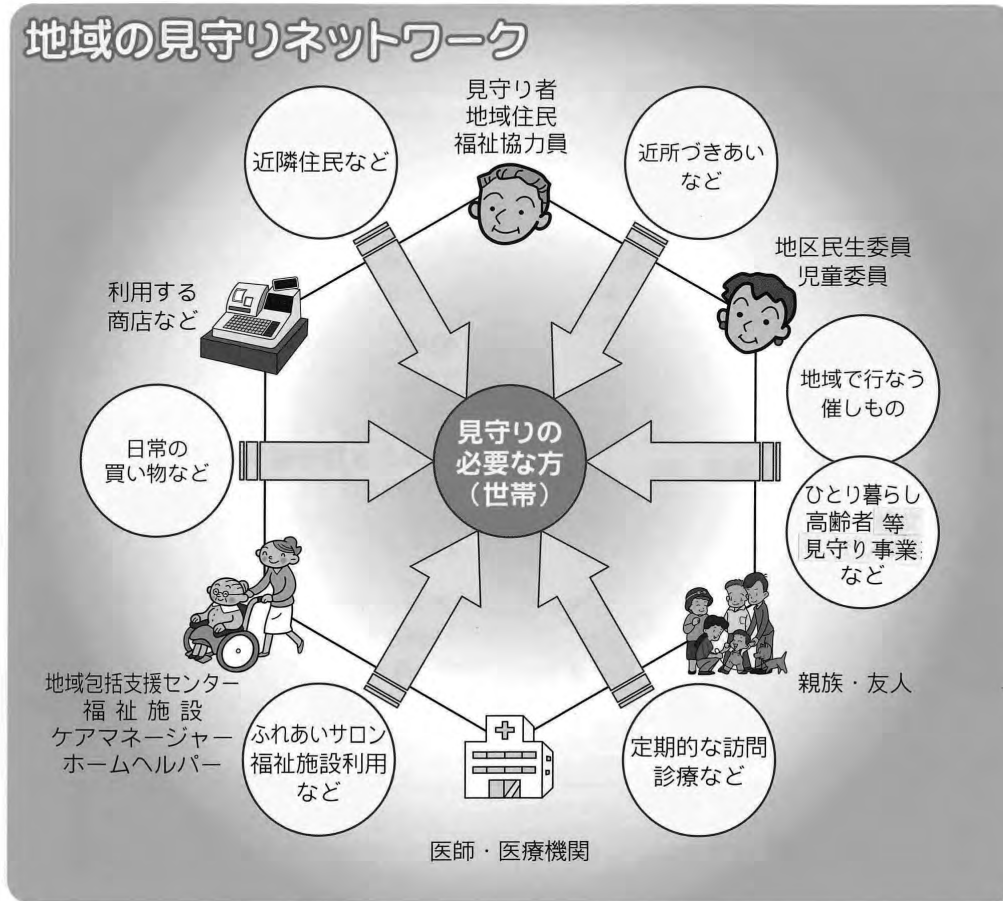
(支出)

(単位：円)

科目	決算額
事務費	1,000
会議費	6,000
通信費	3,000
事業費	1,055,000
①総務部会費(社協だより印刷代他)	(245,000)
②青少年健全育成部会費	(50,000)
③高齢者福祉部会費(見守り他)	(760,000)
予備費	421,000
支出合計	1,486,000

見守り活動の紹介

今後、急激に高齢者人口が増加します。地域における地域住民による見守り活動は最も重要な活動のひとつであるといえます。では、どのように見守り活動を実施したらよいのでしょうか。次の見守りネットワーク図をご覧ください。



◎「見守りの必要な方(世帯)」

ひとり暮らしの高齢者や障害のある方、高齢者世帯など、支援を必要としている方(世帯)。

◎「福祉協力員」

福祉協力員は、身近な地域の見守り活動等を行いながら、見守りネットワークに協力するボランティアです。

役員紹介

(任期：2022年4月～2024年3月)

会長 小代 久子

(民生委員・児童委員協議会長)

副会長 坂本 明

(富岡東部町会長)

副会長 塩田 哲夫

(伊勢山町会長)

会計 田名網 正昭

(犬伏下町会長、民生委員・児童委員協議会副会長)

顧問 上岡 良雄

(浅沼町会長)

監事 山口 武雄

(町谷町会長)

監事 清水 麗子

(民生委員・児童委員協議会副会長)

地域における見守り活動は、地域の皆さん同士の結びつきの中で実施されます。見守りの必要な方(世帯)の生活をいろいろな面から多面的にとらえ、一つひとつのサービスや結びつきが相互に関係しあいながら連携をとることが必要であると考えられています。また、相互の緊密な結びつきは地域の福祉力を高めることにもつながります。